

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所けやき			
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師・理学療法士が常勤しているため医療的ケアが必要な重度身体障がいの方でも安心して送迎・来所可能で、身体機能や呼吸状態等全身状態に応じたリハビリを受ける事が出来る。	楽しくリハビリや療育活動が実施できるように遊びを交えた運動遊びを主体とし、集団での活動も積極的に取り入れている。	外食やショッピング等の戸外活動の導入で社会経験を積む
2	看護師、理学療法士、保育士と専門職が集まり、様々な視点から心身ともに評価を行ったうえで個別支援計画書を作成し、計画に沿った内容・ケアを実施することが可能。	日々の成長や小さな変化も見逃さずに記録として残し、スタッフ間で共有し、変化に基づきリハビリや療育内容を変更している。	家族同士の意見交換や交流する場(茶話会)等の実施検討
3	専門的支援実施を導入し、より専門的で強化的なリハビリ・療育活動を実施していく体制を整えた。	リラックスする時間と集中してリハビリや療育活動をする時間、刺激的な活動などメリハリのある時間を提供することを心掛けている。	地域との交流やイベントへの参加の検討

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団での活動は可能だが保育園・学校規模の集団活動が実施困難。	支援学校や他学校が遠距離にあるため何か行えることを考えていきたい。	日頃からの関りを大事にし連携できることを検討していく。
2	保護者同士の交流が少ない。	交流の機会を増やしてほしいという意見が多いので柔軟な対応をとっていきたい。	ニーズに応じた開催方法(茶話会等)を年間計画に取り入れていく。
3			